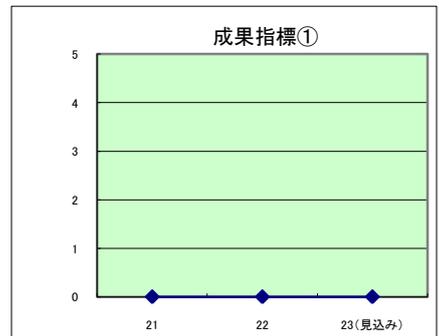
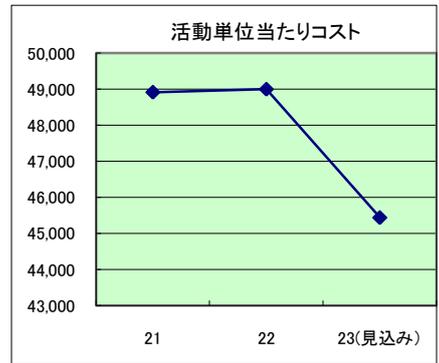


平成 23 年度 事務事業評価シート(平成 22 年度実施事業)

整理番号 選管03

事務事業名		選挙啓発推進事業		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	5	信頼に基づく市民とともにつくるまち		款	2	総務費	
	施策(節)	3	行財政運営		項	4	選挙費	
	施策の方向				目	2	選挙啓発費	
関連する計画等				事業	1	選挙啓発		
対象(誰を・何を)				作成部署	選挙管理委員会事務局			
選挙権を有する市民				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 4610			
意図(どういう状態にしたいのか)								
クリーンな選挙の執行及び投票率の向上を図る。								
選挙に関する啓発活動(懸垂幕、のぼりによる啓発活動、街頭啓発活動、新有権者啓発活動等)の実施。羽曳野市明るい選挙推進協議会との連携を密に行い、クリーンな選挙活動の推進、投票率の向上に向けた啓発活動を進めている。								
事業の内容								
根拠法令等		公職選挙法、羽曳野市選挙管理委員会に関する規程						
事業開始時期		<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 34 年開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度		平成 年度		
事業開始時からの状況変化		インターネットの普及により、市ウェブサイトを通じて市外に居住している本市の選挙人に選挙情報を知らせることができるようになった。						
市民や議会の要望								
実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()						
委託先		<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称() <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> その他		委託内容				

区分		21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込み)
事業費【1】(千円)		364	299	194
人件費【2】(千円)		810	828	942
職員数	正規職員	0.08 人	0.11 人	0.12 人
	再任用職員	0.10 人	0.00 人	0.02 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.02 人	0.02 人
	超過勤務(参考)(時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】(千円)		1,174	1,127	1,136
財源内訳	国費(千円)			
	府費(千円)			
	市債(千円)			
	その他(手数料・使用料等)(千円)			
	一般財源(千円)	1,174	1,127	1,136
活動指標(事業の活動実績)【B】単位		21年度	22年度	23年度(見込み)
① 啓発活動人数	人	24	23	25
② 啓発物配布回数	回	2	2	2
③				
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)		48,917 円	49,000 円	45,440 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		10 円	10 円	10 円



成果指標	指標名	単位	指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績
①	年間選挙違反件数(式)	件	クリーンな選挙が行われていることを明らかにする選挙の違反件数	0	0	0	0	0	0
				0	0	100.0%	0		
②	投票率(式)	%	目標投票率と当該年度に行われた選挙の投票率	85.00	85.00	85.00	85.00	85.00	85.00
				70.81	57.67	67.8%			

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		
○										有	クリーンな選挙の執行及び投票率の向上を図るため必要である。

視点	分析のためのチェック点	はい			いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	30歳代前半から20歳代にかけて、若年になるほど投票率が低くなる傾向を考慮すると、若年層を中心とした啓発活動を検討していく必要がある。		
	市民ニーズと比較してサービスの供給過剰となっていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
	社会情勢の変化に対応している	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
	国・府の事業と重複していない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	緊急性が認められる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	平成21年度まで委託していた選挙時の啓発活動は中止し、職員が自ら行うなどして、コストの削減を図った。また、羽曳野市明るい選挙推進協議会と連携して、効果的かつ効率的な啓発活動を推進している。		
	受益者負担の割合は適当である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	簡略化できる方法や手段がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市民に選挙権を行使してもらうには、どのような啓発活動が有効であるか検討を重ねていく。		
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	成果を向上させる余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	目標どおり、クリーンな選挙が執行できているが、投票率の向上を目指して活動を展開する必要がある。		
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	成果指標は前年度より向上している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

担当部局評価	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了
	評価の理由	平成22年度は、選挙時啓発の費用対効果を考えて外部委託にかかるコストの削減を図り、また新有権者向けの啓発物品にも工夫を凝らしたり、全国で行われている選挙ポスターコンクールに市内小学生に応募してもらったりと、低コストで効果をあげる活動を広げはじめています。次年度以降も低コストで効果的な啓発方法を展開していく必要がある。
		今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)
		羽曳野市明るい選挙推進協議会とともに従来から行っている啓発活動を拡充できるよう検討を重ねていく。また、選挙ポスターは関係機関と連携して小中学生に広く募集し、応募作品を啓発に利用するなど、有効活用に取り組む。

行革本部評価	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了	評価理由・意見